

# 「九州学院大同窓会 総会・懇親会」を開催

～2019年以来4年ぶり 約400名が参加～

見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び。(詩編133)

## 九州学院同窓会

発行 九州学院同窓会  
 責任者・廣島秀二  
 編集人・小手川勲  
 熊本市中央区大江5丁目2-1  
 九州学院内  
 096-366-4533  
<https://kyugakudousokai.jp>  
 題字は 紫垣正弘・元同窓会会長

### 更なる活性化を目指して

九州学院同窓会 会長 廣島 秀二 (S26回)



同窓会長に就任後、会長として「役員・委員が情報を共有し役割を分担する組織・若い同窓生が先輩たちの輪の中にすぐ溶け込める同窓会づくり」を目指しています。6人いる副会長それぞれに役割を分担してもらい、各委員会には新たに副委員長を選任しました。情報を共有して活動を推進する方向性は、同窓会の幹部に浸透してきたように思います。

昨年にはリディア会(女性会員の会)を発足することができました。九学祭や大同窓会における彼女たちの活躍は目を見張るばかりです。コロナ禍沈静化の流れのなか、4年ぶりに大同窓会総会・懇親会を開催しましたが4月盛況のうちに無事終わることができたことは記憶に新しいところ。40人を超す教職員・旧職員の先生方にご出席いただき、同窓生の皆様も大喜びでした。

今後各支部の活動活性化が見込まれます。同窓会の活性化をさらに進め、母校九州学院への支援を推進するためには、同窓生の皆様のご理解とご協力が不可欠です。今後とも九州学院同窓会をよろしくお祈りします。



4月21日夜、熊本ホテルキャッスルに於いて「2023九州学院大同窓会定期総会・懇親会」が開催されました。コロナ禍の影響により2019年以来の4年ぶりの同窓会の開催となりました。

総会では、同窓会事務局の村上洋也参与による2022年度活動報告、同決算報告、2023年度活動計画、同予算案等に対する審議がなされ、全会一致で承認されました。続いての懇親会は人気タレントのゴリけん(町田健一)氏・S44回)と吉田佐知子氏(S52回)の軽妙な司会により、冒頭に讃美歌312番(いつくしみ深き友なるイエスは)を参加者全員で斉唱、続いて日笠山吉之チャプレンにより同窓会や学院関係の物故者をおぼえての祈りが捧げられました。廣島

秀二同窓会会長(S26回)、福田桐九州学院理事長(S18回)、小副川幸孝九州学院院长の挨拶の後、アトラクションに九学チャプレンが躍動感あふれる演技を披露、内村公春第8代九州学院院长の発声での乾杯でパーティーが始まりました。来賓、現役教職員などの紹介の後、祭九学会、昨年発足した女性部の会の紹介などが行われました。

その後の熊本ヴォルターズチアリーダーズの九学チアダンス部のOGだけの特別編成チームによる演技披露で会場は一気に盛り上がり、参加者たちは久々の再会を喜び合っている。会場は学生時代の思い出話や近況を語り合うなどの歓喜の声に満ち溢れました。宴の後半には豪華景品が当たるお楽しみ抽選会なども行われ終始和気藹々としたムードで大いに賑わいました。

### 九州学院110周年 記念植樹・募金者芳名板披露式を挙

4月21日、「九州学院110周年記念植樹・募金者芳名板披露式」が、九州学院1号館(本館)・3号館・4号館に面する中庭において教職員・同窓会など学院関係各位が列席する中で厳かに執り行われました。同式は、キリスト教の礼拝の形式に則り、日笠山吉之チャプレンの司式により厳粛に行なわれました。芳名板には2021年の九州学院創立百周年と2016年の熊本地震の復興特別募金にご協力頂いた方々のご芳名が記されています。

記念樹の二本のハナミズキは1号館昇降口付近に植樹され、芳名板は4号館(中学校舎)に設置されています。なお、その花が十字の形をしているハナミズキはキリスト教の象徴の花の木とされています。



引き続き、我々卒業生が誇りを持って、この素晴らしいブランドが継続できればと思っております。

令和5年度祭九学会  
 会長 廣島 大樹 (S51回)



### 2023年度 同窓会活動計画

- 4月 常任幹事会
- 5月 中高入學式
- 6月 大同窓会総会懇親会(懇親会は4年ぶり)
- 7月 育友会総会で10年会費について依頼
- 8月 奨学生認証式
- 9月 同窓会新聞発行
- 10月 常任幹事会
- 11月 奨学生・給費生を励ます会
- 12月 高校3年役員に10年会費について依頼
- 九学祭(学院文化祭)リディア会参加

令和6年1月 若手の会主催チャペルで成人式(仮称)新卒業生クラス幹事との懇親昼食会

2月 「九学通信」に「同窓会だより」を掲載

3月 常任幹事会

4月 新卒業生(S75回)に同窓会活動の案内

5月 高校卒業式 新卒業生に記念品贈呈

6月 中学卒業式 新卒業生に記念品贈呈

7月 常任幹事会

8月 令和6年度、大同窓会総会・懇親会を両方とも実施予定。

9月 ※拡大正副会長会は、適宜開催の予定。

10月 ※各委員会(会員・育英奨学・企画・広報・大同窓会実行委員会)および若手の会・リディア会の会議は適宜開催の予定。

11月 ※各地域支部の総会に、学校の教職員とともに同窓会役員が出席予定。



昨年度に発足しました同窓会女性部会(リディア会)の会長を務めさせていただきます。S49回の後藤佳子と申します。会の名称でもあります「リディア」とは新約聖書に登場する女性です。現代というキャリア・ウーマンであり「フィリピの教会」を設立したと考えられている女性です。九州学院OGの方々がそれぞれ苦労の多い状況の中で、リディアのように多くの人を支え、よく理解して「喜びの人生」を送ることができるとを願い、小副川院長先生に命名して頂きました。男女共学から30年を迎え、沢山のOGがそれぞれの場所でも活躍しております。

祭九学会  
 グッズ販売のご案内  
 九学会S51回実行委員会  
 お申込はFAX/DMから  
 FAX:096-372-6985  
 ●パンダナロゴタオル ●九学ラーメンなどもご用意しております。



平素より「祭九学会」へのご理解・ご協力・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本年の祭九学会は創設45周年の記念の年となります。諸先輩方が受け継いでこられた伝統を守りながら、4年ぶりの参加に「リストアート」のテーマを掲げ、絆を皆さまでに親しんでいただける九州学院カラーに一新しました。9月17日の本祭には是非お誘いあわせの上、多くの皆さまにご参加いただきますようお願い申し上げます。

令和4年度若手の会  
 会長 清田 優作 (S51回)



### 若き日の私に多大なる影響を与えた九学の教え

鶴田病院会長 鶴田 克明氏 (J5回)



私は今年5月で87歳になる九州学院中学校の卒業生です。外科医師ですが現在は内科外科医の息子二人、事務職(経理)の娘達に病院を引き継いでもらっています。

私は阿蘇郡の小国中学校2年生になる時に九州学院中学校に転校しました。今から71年前の昭和26年の事です。まだ第二次世界大戦後の食糧事情が厳しい時代でした。当時の九州学院の裏門(現西門)の左手に二階建ての学生寮があり、私の郷里の小国郷から4人の先輩が居られとても心強いことでした。寮は一室3名(高3・高1・中2)で、先輩方が勉強されるので、私も夜半まで頑張りお陰で成績を伸ばすことが出来ました。

ヘレンケラー女史の通訳で有名な佐々木千歳先生も教壇に立たれており、中学部には優秀な学生達が県下から集まり、東大、京大などに合格していました。熊本医学部にも同窓生が何人もいました。同級生には全国模試でベスト10に入った友人もいました。

九州学院は知育の他、体育の面でも優れており、熊本近代スポーツの父とも言われる柔道家の宇土虎雄先生、剣道界の重鎮紫垣正弘先生(旧中1回卒)等のご指導の下、高校陸上部には後に短距離でメルボルン五輪(1951年)の日本代表になった清藤亮選手(S3回卒)が活躍していました。また、学院には県下の中高で唯一の25メートルプールがあり、小国の清流で幼い頃から泳いで水泳が得意だった私は、体育の時間にプールで泳げることをたいへん嬉しく思ったものです。また、私の親戚の九学OBと一緒に職員室に行き、彼の恩師にあたる先生方と昔話に花を咲かせたこともありました。そのような伝統ある校風が私にはとても美しく好ましく思われました。そして私が一番思い出に残るのはキリスト教による毎日の礼拝です。今でも聖句を覚え、懐かしい讃美歌を口ずさむこともあり、若き日に九州学院で学んだことにしみじみ感謝する今日この頃です。



昨年三冠王に輝いた村上宗隆選手は、この大会の一次リーグから不振が続き準決勝からは打順も4番から5番に下がっていました。しかしながら、会場がアメリカに移ってからの準決勝メキシコ戦では逆転サヨナラとなる2塁打を打ち、さらに決勝では同点の特大

の本塁打でチームを活気づける活躍をしました。不振のプレッシャーの中で最後に見事な復活で期待に応える活躍が出来たことは本当に喜ばしいことです。



有村プロは小学4年時(10歳よりゴルフを始め、九州学院中学校時代には全国中学校ゴルフ選手権大会を制覇し、東北高等学校に進学しました。2006年7月のプロテスト合

3月21日(日本時間22日)、米マイアミで行われた第5回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)の決勝戦で日本代表「侍ジャパン」が前回王者の米国を3-2で破り、2009年の第2回大会以来、3大会ぶり3回目の優勝を果たしました。

シリーズ

## 羽ばたく同窓生

### 侍ジャパンの優勝に貢献

村上宗隆選手(S70回)

### ツアー6度目のホールインワン

有村智恵氏(J56回)



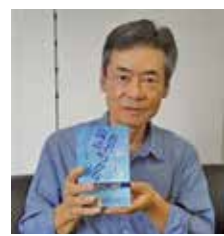
4月15日、国内女子プロゴルフツアー第7戦「KKT杯バンテリントンレディースオープン」(熊本空港CC)第2日予選ラウンドで、有村

格後、米国ツアーでも活躍し国内ツアーでは2018年にサマンサタバサレディスで6年ぶりに6通算14度目となる復活優勝を飾っています。

### 熊本市PR誌「悠久」のモデルに

高良健吾氏(S58回)

熊本市の親善大使で俳優の高良健吾氏をモデルに市が制作したPRパンフレット「悠久」がこの度完成し、4月にパルコ跡に開業した商業施設「HAB@」(中央区)の2階で、写真などを集めた企画展が開催されました。「悠久」は高良氏が市内を訪ねて熊本に根付く古き良きものの魅力を伝えるフォトブック(2015年発行)です。



### 論語講座で活躍中

松崎昇氏(S24回)

元熊本市職員の高良健吾氏は長年自身が魅せられ学んで来た孔子の教え論語の解説書を出版したり、カルチャー講座などを通して広める活動をしています。「論語は2500年読み継がれた超ロングセラー。だからと言って単なる古い書物でも宗教でもなく、日常生活や仕事に役立つ実践的な指南書です」と力説し、現在は公民館などの6講座で多くの受講生を受け付けていま

今回はその続編で、伝統工芸や文化財などを中心に水前寺成趣園や居合道場誠心館などが興味深く紹介されています。

## マイアミでのWBC日本優勝が光りに! ~九学との出会いが全ての原点~

オールアメリカンチケット社取締役社長 パトリック英久丸目(S32回)



九州学院卒業後、1981年よりロサンゼルスに移住し、85年にポピュラー社に入社しました。海外渡航1千万人時代に、新婚旅行から海外視察、企業の慰安旅行まで、多種多様に渡るツアーを担当、94年のFIFAワールドカップアメリカ大会(日本は、ドーハの悲劇で無念の出場叶わず)企業向けのVIPチケットも含め、相当数のチケットを取り扱いました。95年のドジャースの野茂投手、マイケルジョーダン観戦ツアーなど、観戦チケットの需要が高まり、96年にオールアメリカンチケット社を設立しました。また、同時期に吉本興業、スポーツマネージメント部との業務提携、日本人メジャー選手のお世話を裏方としてサポートさせて頂きました。業績は順調に伸ばせたものの、2020年の新型コロナウイルスによるパンデミックで、全てのツアーはストップ、会社の継続も厳しい状況で、一からの出直しとなりました。3年半ぶりに起爆剤となったのは、マイアミでのWBC観戦ツアー、約200名の観戦ツアーを実施、侍ジャパンという大成功を収めたことです。メキシコとの準決勝、後輩の村上選手の逆転サヨナラタイムリーの劇的勝利には、本当にしびれました。全ては、九学時代にさかのぼります。入学時英語コース担任の小手川勲先生(記念すべきルーキーヤー)との出会い、ESS所属、アメリカと英語が大好きで、第一回訪米研修団のメンバーとしてホームステイを含め3週間にわたる北米旅行に参加できたことは、自身最強の思い出です。引率していただいた、西一郎先生、小崎義昭先生、3年間バレーボール部でお世話になった井場晃先生、高三の担任田端圭二先生、本当にありがとうございました。海外にいながら、当時のクラスメート、小手川先生とFBで繋がりが、近況報告ができることに本当に感謝しています。

す。工房名の「Standing Straight Studio」(真すぐ立つという意)は、アメリカで「養子」関係の国際的な活躍に期待がかけられます。

教職員など総勢約40人が集いました。小副川幸孝院長、廣島秀二同窓会会長による挨拶、来賓紹介に続いて、代表生徒がそれぞれ自己紹介と決意表明を行いました。

## ナルドの壺 奨学生認証式を挙行

6月12日、1号館同窓室において2023年度九州学院ナルドの奨学生に対する認証式が行われました。この制度は1981年の創立70周年記念事業の一環として1983年から九州学院同窓会が始めた育英奨学事業が、2015年から「九州学院ナルドの壺基金」に組み入れられて継続しているものです。現在は、中高に在籍する生徒の中から特に優秀であると認められた人に対して奨学金を支給しています。

今年度の育英奨学金支給対象者に新入生を含めて中学生3人、高校生3人が選ばれました。授与式では小副川

## 新卒業生代表・同窓会役員懇親会を開催

1月20日、1号館同窓室において九州学院同窓会主催による「新卒業生クラス代表と同窓会役員懇親会」が行われました。この催しは、まもなく同窓会の新たな仲間となる高校3年生の各クラスから選出された世話役と同窓会幹部との連携強化と親睦を目的に、毎年3年生の3学期に実施しているものです。会場には各クラス代表生徒、同窓会役員、

## 各地の同窓会支部

- 東京九学会
- 神奈川同窓会
- 関西九学会
- 福岡九学会
- 荒尾・玉名支部
- 山鹿・植木支部
- 菊池支部
- 泗水支部
- 大津支部
- 合志支部
- 小国九学会
- 阿蘇中部九学会
- 阿蘇南部OB会
- 上益城支部
- 山都九学会
- 宇土支部
- 宇城市同窓会
- 八代九学会
- 人吉球磨九学OB会
- あした九学会
- 水俣支部
- 天草九学会
- 荅北支部
- 牛深九学OB会



肥後象がんと野に挑戦 麻生 翼氏(S43回)

肥後象がんと野に挑戦 麻生 翼氏(S43回) 肥後象がんと野に挑戦 麻生 翼氏(S43回) 肥後象がんと野に挑戦 麻生 翼氏(S43回)

肥後象がんと野に挑戦 麻生 翼氏(S43回) 肥後象がんと野に挑戦 麻生 翼氏(S43回) 肥後象がんと野に挑戦 麻生 翼氏(S43回)



北朝鮮拉致被害者 松木薫氏(S24回)の救出を 松木氏は1980年スペイン留学中に拉致され、現在も北朝鮮に抑留。弟の信宏氏(S43回)が家族会で活動中。

〈S1回卒は1948年卒業〉 九州学院では、1948年度の新制高校の第1回の卒業生(1946年入学)をSenior(高校)の頭文字をとってS1回、新制中学校卒業生は1948年が第1回となり、J(Junior)1回と呼びます。因みに2023年3月の卒業生はS75回、J76回です。